

## 平成28年度会務総括報告

平成28年度事業ならびに会務運営は、平成27年度第6回理事会において承認（平成28年度定時総会にて報告）された事業計画に基づき執行した。

交流提携しているタイ医学物理学会（TMPS）からの要請で2016年12月にタイ バンコクで開催されたICMP2016(The 22nd International Conference on Medical Physics)で本学会が関係した5つのミニシンポジウムを実施した。また、英語論文誌（RPT）を平成29年より発刊を年4回に変更して海外への研究成果の発信の機会を増やすことを決めた。国際化の一つの指標である総会学術大会での英語化については、Cyposと発表スライドの英語化を100%達成し、さらに英語口述発表の割合も40%と増え、着実に国際化を前進させることができた。

一方、新たに日本放射線看護学会との連携を開始し、合同の研究班を立ち上げ、学際化を一步進めた。また、市民公開シンポジウム、市民公開講座を開催して研究成果を一般市民へ積極的に還元した。

8月に新会員システムを稼働させ、会員の利便性の向上ならびに事務局業務の効率化を図った。今後、システムの充実を進める。

平成28年度末の正会員数は17,151名であり、平成27年度末の正会員数と比べてわずかであるが増加し、引き続き上昇傾向を維持した。学生会員は265名となり平成27年度末と比べて微増した。また、総会学術大会では4,700人を、秋季学術大会では1,700人を超える多くの会員が参加し、大盛会であった。

会員諸氏の温かいご理解と担当役員・委員の献身的な努力により、学会事業が順調に執行できたことに深甚の謝意を表す。

以下に、平成28年度事業の全般にわたり、その概要を報告する。

### 1. 学術集会事業；公1

#### 1) 学術大会の開催

##### (1) 総会学術大会の開催

第72回総会学術大会は平成28年4月14日（木）～17日（日）の4日間、小倉明夫大会長のもと開催した。一般研究発表演題は536題、参加登録者数は4,765名であった。

第73回総会学術大会は平成29年4月13日（木）～16日（日）の4日間、宮地利明大会長のもとパシフィコ横浜会議センター他で開催すべく準備を進めた。

##### (2) 秋季学術大会の開催

第44回秋季学術大会を平成28年10月13日（木）～15日（土）の3日間、梁川範幸大会長のもとソニックシティ（さいたま市）にてJRC共催、日本医療情報学会の後援で開催した。研究発表は341題、ポスター発表24題、学術班研究報告5題、参加登録者は1,744名であった。

第45回秋季学術大会を平成29年10月19日（木）～21日（土）の3日間、上田克彦大会長のもと広島国際会議場（広島市）で開催すべく準備を進めた。

##### (3) 専門部会プログラム、セミナーの開催

7つの部会が春秋の学術大会にジョイントして部会プログラムを開催し、教育講演や種々の企画を行った。また、教育委員会、専門部会、地方支部共催で、画像部会は医用画像プログラミングセミナーと、ROCセミナー、DRセミナー、臨床画像評価セミナーを、核医学部会は核医学技術研修会と2回の核医学画像セミナーを、放射線治療部会は3回の放射線治療セミナーを、撮影部会は2回の乳房撮影ガイドライン・精度管理研修会、MRセミナー（上級編）、CT応用セミナー、2回の救急撮影セミナー（実践編）、デジタルマンモグラフィを基礎から学ぶセミナーを、計測部会は2回の簡易線量計作製セミナーを、放射線防護部会は2回の放射線防護セミナー、医療情報部会は3回のPACS Specialistセミナー、2回のPACSベーシックセミナーを行った。また、計測部会、放射線防護部会共催で4回の診断参考レベル活用セミナーを行った。

##### (4) 地方支部における学術大会、セミナー等の開催

各地方支部において地域に根ざした支部独自の企画で、春もしくは秋に学術大会ならびにフォーラム、セミナーなどを開催した。学術大会については、北海道支部は4月に北海道支部第72回春季大会、11月に北海道支部第72回秋季大会を、東北支部は10月に東北支部第54回学術大会を、関東支部は平成29年1月に第63回関東支部研究発表大会を、東京支部は5月に第70回東京支部春期学術大会を、中部支部は11月に第51回中部支部学術大会を、近畿支部は平成29年1月に第60回近畿支部学術大会を、中国・四国支部は11月に第57回支部学術大会を、九州支部は11月に第65回九州支部学術大会を開催した。

(5) 公開シンポジウム・公開講座の開催

一般市民を対象とした平成28年度市民公開講座を科学研究費補助金を得て「X線CT検査とマンモグラフィー—安心して検査を受けるために—」のテーマで広島市において開催した。また、平成28年度市民公開シンポジウムを「怖〜い動脈硬化を知って長生きしよう！—虚血性心疾患と脳血管疾患の予防・予知と治療—」のテーマで京都市において開催した。

## 2. 刊行広報事業；公2

(1) 学会誌の発行

平成28年1月～12月で掲載論文数が74編（昨年は同期間で59編）となった。学会誌第72巻1号～第72巻12号の12冊（論文特集号1冊含む）を毎月20日に発行した。

(2) 英語論文誌の発行

一般社団法人日本医学物理学会との共同発刊で、第9巻2号を平成28年7月20日付で発行した。掲載論文数は20編となった。

(3) 出版活動

放射線技術学叢書(36)「図解 知っておきたい放射線部門における情報システムの構築」、放射線技術学叢書(37)「初学者のための核医学実験入門」の発刊を行った。また、放射線技術学叢書(25)、(27)、(31)、(33)、(34)を増刷した。

(4) 支部雑誌の発行

各支部において支部雑誌を発行した。北海道支部は北海道放射線技術雑誌をVol.80、Vol.81を、東北支部は東北支部雑誌第26号を、関東支部は関東支部雑誌19号を、東京支部は東京支部雑誌Vol.129、Vol.130を、中部支部は中部支部雑誌Vol.18を、近畿支部は近畿支部雑誌Vol.22 No.1、No.2、No.3を、中国・四国支部は中四国放射線医療技術フォーラムプログラム集を、九州支部は九州支部雑誌Vol.15 No.1を発行した。

(5) 部会雑誌の発行

春秋の学術大会に合わせて各部会において部会雑誌を発行した。

(6) 広報活動

会告、お知らせ、イベント、他団体からの案内をホームページ（和文）等に掲載し、広報活動を展開した。また、本会の海外における認知度を高めるために国内外で開催された国際会議(ICMP, RSNA)で国内外に向けて広報活動を行った。一方、医療に関する放射線被ばくや放射線技術に関する市民からの問い合わせに対して迅速に対応した。

## 3. 研究調査事業；公3

学術調査研究班12班を編成して積極的な学術活動を行った。また、3規格についてJIS原案を作成した。

医療放射線管理にとって重要である放射線事前安全評価のために日本画像医療システム工業会および厚労省科研費研究「細野班」と協力してエックス線装置の遮蔽計算マニュアル作成の検討を行った。

第72回総会学術大会では、専門部会講座の「入門編」7講座ならびに「専門編」10講座、教育講座を、第44回秋季学術大会では、専門部会講座の「入門編」7講座ならびに「専門編」9講座、教育講座を開催するとともに専門部会講座のコンテンツをe-learningとしてホームページに掲載した。また、英語プレゼンと論文作成のe-learningのコンテンツを作成した。

#### 4. 研究奨励事業；公4

規定に基づき、三賞、学術業績賞、研究奨励賞等の選考・推薦を行った。

北海道支部は、功労賞、学術奨励賞、Young Investigator Awards、優秀研究賞などの表彰ならびに技術研究助成を行った。東北支部は、学術奨励賞の表彰ならびに研究助成を行った。関東支部は、功労賞、新人賞を表彰した。東京支部は、功労賞、学術奨励賞、新人研究奨励賞の表彰ならびに公募研究助成を行った。中部支部は功労賞、技術奨励賞を表彰した。近畿部会は第60回近畿部会学術大会の優秀発表者に対して大会長賞、新人賞を表彰、特別功労賞、功労賞を表彰した。中国・四国支部は、奨励賞を表彰した。九州支部は第72回総会学術大会での研究発表に対して助成を行った。

#### 5. 連携交流事業；公5

##### (1) 国内

- ① 関連学協会への委員の派遣ならびに共催・協賛・後援含めて関連学協会への協力を行った。
  - (a) JIRA と協力し、に基準委員会活動としての JIS 原案審議と認証基準審議を行った。
  - (b) 医用 X 線 CT 装置の IEC 国際会議を京都で開催した
  - (c) 医療情報の標準化を目的に日本 I H E 協会、HELICS 協議議会等の関連学協会と連携を図り協議を行った。
- ② JRC 理事会に役員を6名派遣し、学術大会開催企画に積極的に参画した。
- ③ 医療被ばく研究情報ネットワークに参画し診断参考レベル等について検討した。
- ④ 公益社団法人 日本診療放射線技師会と懇談会を2回開催し、公開合同学術セミナーを1回開催した。
- ⑤ 日本放射線看護学会と連携・協力により学術研究班を立ち上げた。

##### (2) 海外

短期留学生の派遣（2名）、国際研究集会への派遣（9名）、本学会と交流のある海外学会への派遣（6名）、を行った。

第72回総会学術大会に中華医学会影像技術学会(CSIT)から役員2名、推薦会員4名を、大韓放射線科学会(KSRS)から1名を、タイ医学物理学会(TMPS)から1名を招聘した。また、第24次中華医学会影像技術学会総会学術大会に役員2名、ならびにICMP2016に役員4名を派遣して学術交流をおこなった。